

不燃化セミナー ～防災・減災まちづくりフォーラム～

を開催しました！

●開催日時：平成28年12月3日（土）

●開催場所：サンパール荒川5階

●内容

①基調講演

来たる災害に備える

～地域の皆さんが主役の災害への備え～

講師：兵庫県立大学防災教育研究センター長 室崎 益輝氏

②第四中学校の生徒さんによる防災部の取り組みや 被災地訪問などの報告

③まちづくりカフェ開催報告

参加された皆様からのご意見など

○日頃の生活に追われ、防災、減災に対する知識が足りないことを痛感しました。

○事前の防災準備（チェック等）、人と人とのつながりの大切さを感じました。

○中学生の「助けられる人から助ける人」を合言葉にする取り組みは大きな力になると思う！

○地域の結びつきの大切さがいかに重要かと思いました。だからこそ、何ができるかを事前に話し合っておくことが大切だと思いました。

平成28年11月12日 まちづくりカフェを開催

多世代交流を通して、地域活動や防災のことを気軽に話し合えるイベントとして、あらかわエコセンターでまちづくりカフェを開催しました。

住まいの相談会を開催します

日 時

- 平成29年
① 3月3日(金)
午後7時～9時半
受付は午後6時45分～午後8時30分まで
② 3月4日(土)
午前9時半～12時
受付は午前9時15分～午前11時まで

場 所

センターまちや
(荒川7-50-9)
4階会議室B



☆開催時間の間、自由に入出力できます☆

荒川五・六丁目地区のまちづくりに関するお問い合わせやご意見は

荒川区防災都市づくり部 防災街づくり推進課

電話：3802-3111（内線2821）

mail：boumachi@city.arakawa.tokyo.jp

4



室崎先生の基調講演



中学校防災部の活動報告



まちづくりカフェの様子

あら、かわいい まちづくり新聞



通巻第65号 平成29年2月

平成28年度 防災まちづくり協議会の 取り組みを報告します



皆さんお住まいの荒川五・六丁目地区では、「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」での検討を中心に、災害に強いまちを目指して取り組みを進めています。

平成29年2月2日（木）に実施した平成28年度第3回防災まちづくり協議会の内容をご紹介します。

議題

- ① まち歩きのまとめについて
- ② 不燃化セミナーの開催報告について
- ③ 来年度の取り組みについて
- ④ まちづくりニュースについて



10月23日に行った「まち歩き」の結果について意見交換を行いました。（裏面参照）

- 主な意見（抜粋）
- 狹い道路に電柱があると、震災時に倒れてくるのではないかと危険を感じる。電柱・電線類の地下埋設化を推進してもらいたい。
 - 狹い道路での電柱・電線類の地下埋設化の工事は、非常に大変で工事期間も長くなるようである。すぐにできることとして、電線や電柱の危険な場所を地図にして知らせるなど、防災マップを作成・活用してはどうか。
 - 来年度の協議会の取り組みとして、地域の消火器や消火栓など、細かな防災情報も掲載した地域版の防災マップを作成し、地域に情報提供してはどうか。
 - 防災マップにどのような情報を掲載するか、細かすぎると個人情報などとの関係もある。しっかり活用できる情報を選ぶことも重要である。



1

防災まちづくり協議会 まち歩き結果のご報告

【実施日時】

10月23日（日）14時～16時、花の木ハイム荒川（集合、解散）

【実施の概要】

荒川五・六丁目防災まちづくりの会では、街の防災性の向上に向けた取組の一環として「まち歩き」を実施しました。まち歩きでは、五丁目と六丁目の2つのコースに分かれ、「地域の防災上気になるところ」「災害時に役立つまちの資源」を発見するとともに、地域の歴史や資源、景観など、今のまちの様子を再確認しました。

今回のまちづくりニュースでは、まち歩きで発見した防災資源や地域の魅力を皆さんへご報告します。

六丁目コース

まちの「防災」資源



【第四中学校】

- ・避難場所として指定
- ・ブロック塀の安全性確保が課題
- ・災害時における学校との連携体制が重要



まちの「魅力」資源

まちの「魅力」資源



新地児童遊園



路地にあふれる緑



荒川六丁目
グリーンスポット



荒川六丁目
ひろば館



荒川六丁目
児童遊園



荒川五丁目
グリーンスポット



花の木
公園



花の木ハイム
荒川



子ども家庭支援
センター

（地元の方にインタビュー）
・物価が安いのがよい
・心地よく住みやすい
・健康に生きられる

五丁目コース

まちの「防災」資源



電柱や電線が多く密集している箇所があり、地震の際危険



足場が悪く、街灯が少ないでの危険



京成線高架下を有効に活用したい



防災スポットの整備が決定している空地



防災機能を備えた遊具などがあるといい



ポール遊びが禁止、不審者の情報があるなど、子供が安全に遊べる環境が少ない



戦後すぐに計画され、地元では「疎開道路」と言っていたが、石碑は「消防道路」となっている



五丁目公園のような子供がたくさん集まる公園が地域の宝物

2

まち歩きの様子



※この地図は東京都縮尺1/2500地形図（平成27年度版）を使用したものである。
(利用許諾番号 : MMT利許第27049号-41)